

令和4年度 4歳児 「こま回し」

(実践前修正箇所を斜体、実践後修正箇所を囲み文字にて示す。)

1. 期間 10月下旬～3月

2. 設定の理由

1学期には、園庭で思い切り走ったり、固定遊具で遊んだり、大型積み木を並べたり、木登りをしたりして、様々に体を動かすことを楽しんできている。その中で、固定遊具の高いところに登りたい、木登りで上まで登りたいなど、少し難しいことに向けて、できるようになりたいと思い、繰り返し取り組む姿も見られるようになってきている。また、氷鬼などの鬼ごっこで、追いかけて追いかけられたりして友達や教師と一緒に遊ぶ楽しさを感じたり、勝ち負けがあることで、勝って嬉しい気持ちや負けて悔しい気持ちを友達と一緒に感じたりする経験をしてきている。また、運動会では、リズム表現では全身を使って友達と一緒に表現する楽しさや、物語の展開を考える面白さを感じた。

また、玉入れでは玉を入れたい、速く走りたいと具体的な目的をもち、考えたり試したりして繰り返し取り組む中で、できるようになったり、前よりも上手になったりしたことを嬉しいと思ったり、自信をもったりした。また、投げたり走ったりすることが得意な友達の個性やすごい素敵なところに気付いたり、チームが勝てるようにどうしたらいいか考えたりして、思い付いたことをしようとするような姿も見られている。

このような経験をしてきた4歳児の子どもはたち達に、運動会のご褒美としてこまを一人二つずつ渡し、取り組んでいくこととする。手回しごまは3歳児2学期末にもらい、経験をしているが、紐ごまに触れた経験のある子どもはほとんどいない。

すぐに紐が巻けたり、こまが投げられたりするわけではないので、ひもを巻いたりこまを回したりできるようになるまでに時間がかかるとや労力をかけることとなる。その時間の中で、回せるようになりたいと思って回せるようになるまで繰り返し挑戦したり、友達や保護者に紐の巻き方やこまの回し投げ方を教えてもらって、保護者や友達の優しさを感じたり、すごいコツを掴んで回したり難しい技をしたり挑戦したりする姿を素敵だと思ったり、巻き方や投げ方、足の開き方などコツをつかんだりしていく。また、最初はなかなかできなくてやっとできるようになったという過程は、できた時に大きな自信へつながるものとなる。

こま回しでは、一人ひとつに一つ自分のこまがあり、いつでも手にとって遊べる環境にある。そのため、紐が巻けるようになりたい、こまを回したいなど具体的な目標をもっていつでも挑戦できる。しかし、こま回しは、それぞれでコツをつかむまでの時間や練習時間も違うので回せるまでに個人差が出る。

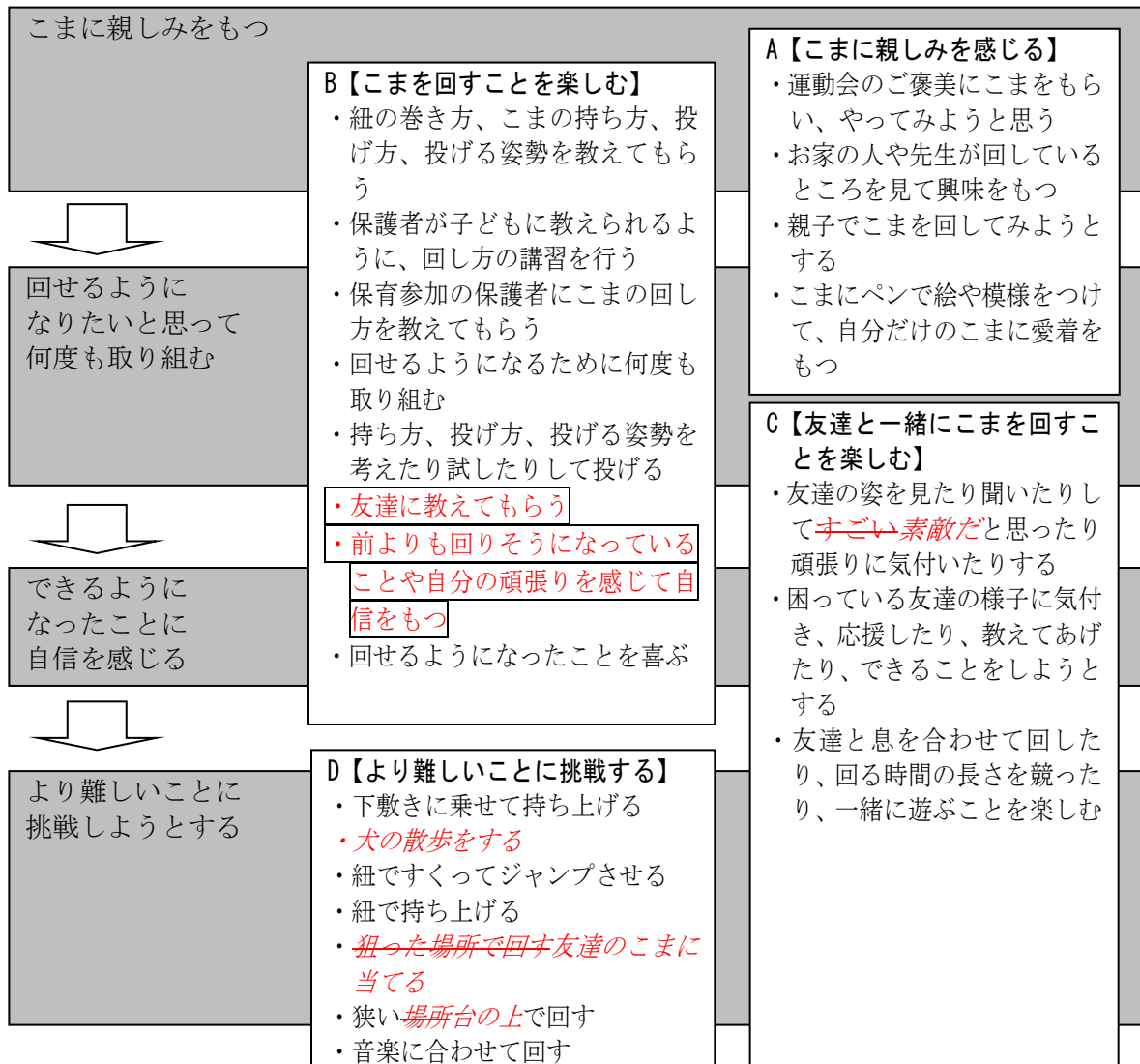
そこで、人と比べるのではなく、前の自分と比べてできるようになったということを実感し、自信をもってほしいと考える。そして、回せたら終わりではなくて、狭い的に狙って投げる、友達や教師より長い時間回す、回すのが難しい大きなこままで回す犬の散歩や手のせ、狭い台の上で回すなどいろいろな技に挑戦するなど個人のレベル、一人一人の段階に合わせて次のステップアップした目標ができをもち、挑戦し続けられる状況や環境を作っていきたい。

3. ねらい

- ① 紐を巻けるようになりたい、こまを回せるようになりたい、先生や友達より長く回したい、狭い台で回せるようになりたいなど具体的な目標をもって挑戦したり、繰り返ししたり しようとする 自ら決める・選ぶ
- ② 紐が巻けるようになった、こまが回せるようになった、昨日より多く回った、長く回った、狭い台を狙って投げて回せるようになったなど以前はできなかったことができるようになったことを喜んだり、できるようになった自分に自分の頑張りを感じて自信をもったりする 自分に満足する
自分を客観的に把握する
- ③ 先生や友達、お家の人に回し方を教えてもらったり、応援してもらったりして嬉しく思ったり、こまが回ったことを一緒に喜んだり、どちらが長く回せるか勝負したり、こまをぶつけ合ったりして一緒に遊ぶ楽しさを感じたりする。 他者という喜びを感じる
- ④ 巻き方を優しく教えてくれた、投げ方をやって見せてくれたなど友達の優 他者のことを知る

- しさを感じたり、頑張って何度も練習する友達の~~存在に気付い~~頑張りを感
じたり、上手にこまを回~~せるしたり、~~長く回~~せしたり~~する友達を見て、~~すごい~~素敵だと思ったりする。
- ⑤ 紐を巻くことができなかつたり、なかなか回らなかつたりして困っている 他者のことを考えて
友達の様子を見たりしに~~気付いて~~、紐を巻いて~~あげ見せたり、~~自分の考え
たこまの持ち方や投げ方、~~投げる姿勢~~を教えてあげたりしようとする 行動する
- ⑥ 近くで友達がいると、こまが当たって危ないことを知っ~~たり気付いたりし~~て、身を守る
周りを確かめたり、投げることを知らせたり、友達が離れるのを待っ
たりしてから投げようとする
- ⑦ ~~ほどこけないように~~引く力を調節し~~て~~ながら指先で紐を巻く、足を肩幅ぐら 身体を操作する
いに開く、ひざを曲げて低い姿勢になる、~~手腕~~を後ろに引いてこまを投げ
る、遠くを~~狙って~~に向けて投げるなどこまを投げる時の姿勢や~~身体~~の使い
方、動かし方を見たり教えてもらったり自分で考えたりして、試~~すそうと~~
する。
- ⑧ こまに好きな色や模様をつけたり、絵を描いたりすることを楽しむ。 造形に~~あらわ~~表す
- ⑨ こまは、止まる前~~はフラフラに揺れが大きくなる、こまが斜めに傾いて回~~
~~るとすぐに擦れ滑って止まる、こまは裏逆さ向きでも回る、紐はきつく巻~~
~~き力を入れ過ぎると盛り上がり過ぎて巻けないが、きつく巻くと長く回るな~~
ど、こまの止まり方や回り方、紐の巻~~かれ~~き方の特徴を感じ、~~楽しんだり、~~
~~驚いたりすその面白さや不思議さを感じる~~ 事物・現象をとらえ
る
- ⑩ こまを回すと、色や模様が変わること~~や速さが変わると様子が変わることを~~
~~感じて、きれいだと思ったり、面白いと思ったり、驚いたり、不思議に~~
~~思ったりして何度も試すそうとする~~ 事物・現象をとらえ
る
- ⑪ こまの回る様子や止まりそうな様子を見て、回る速さの違い、や回ってい
る時間の長さの違い、どちらが長く回るかを感じる。 数・量をとらえる
比較する
- ⑫ こま回しをし~~てもよい場所といけな~~やすい場所~~やその理由を教えてもら~~
~~い、場所~~を考えてこまを回すの板を置こうとする 施設や働く人とつな
がりをもち住空間を
整える

4. 展開



A【こまに親しみを覚える】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・運動会のご褒美にこまをもらう ・保護者や教師が回しているところを見る ・こまにペンで絵や模様を付ける	○お家の人や先生がこまを回す様子を見て、自分も回してみたいと思う。① ○こまに好きな色や模様をつけたり、絵を描いたりすることを楽しむ。⑧ ○こまを回すと色や模様が	*自分だけのこまを大切にできるように、また、親子で一緒に取り組めるように、ひとり2つずつ一人に二つこまを渡す。 ◎こま回しを楽しそうだったり、自分も回せるようになりたいと思ったりするように、こまを回して見せたり、誘ったりする。 *◎色をつけたこまが回るイメージをもてるように、色をつけたこまを手に付くところを用意して回して見せる。 *自分で好きな色や模様を付けられるように、ペンを用意しておく。 ◎自分だけのこまに愛着を感じられるように、子どもの作ったこまの素敵などを褒めたり、周りの友達に知らせたりする。 ◎止まっている時のこまと回っている時の

	変わることを感じて、きれいだと思ったり、面白いと思ったり、驚いたり、不思議に思ったりして何度も試す。⑩	こまでは色や模様が違って見えることに注目できるように、回すと色の変化がはっきりする色の組み合わせで色を塗ったこまを回して見せる
--	--	--

B【こまを回すことを楽しむ】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・紐の巻き方、こまの持ち方、投げ方、投げる姿勢を教えてもらう ・保育参加の保護者にこまの回し方を教えてもらう ・回せるようになるために何でも取り組む ・持ち方、投げ方、投げる姿勢を考えたり試したりして投げる ・回せるようになったことを喜ぶ	○こまを回せるようになりたいと目標をもって繰り返し回そうとする① ○先生や友達、お家の人に回し方を教えてもらったり、応援してもらった喜びを感じる。③ ○紐の巻き方やこまを投げる時の姿勢や身体の使用方・動かし方を考えたり試したりする⑦ ○以前の自分と比べてできるようになったことや自分の頑張りを感じて喜んで自信をもったりする② ○周りに友達がいないか、投げたこまが当たらないか、教えてもらったり、気付いたりして、気を付けてこまを回そうとする近くで友達がいると、こまが当たって危ないことを知って、周りを確かめたり、投げることを知らせたり、友達が離れるのを待ったりしてから投げようとする⑥ ○こまの止まり方や回り方、紐の巻かれき方の特徴を感じ、楽しんだり、	*教師や保護者、友達の様子に目を向けて興味関心をもてこま回しに集中して取り組めるように、中央テラスや園庭などにこまの板を置く。 ◎こま回しに関心を寄せて挑戦できるように、お家の人や友達に来てくれていることや挑戦している友達の姿を紹介する。 *いつでも手にとってこまを回せるように、こまの板を保育室に用意したり、やこまの置き場いろいろなこまを用意しておいたりする。 ◎繰り返し回せるように十分な時間をとる。 ◎お家の人や友達と一緒にこまを回す楽しさを感じられるように、頑張っているところを応援したり、うま〜上手〜といったことを一緒に喜んだりする。 ◎紐の巻き方やこまを投げる時の姿勢や体の使い方のコツを掴んでこまを回せるように、回して見せたり、手を添えて一緒に紐を巻いたり、こまを投げたり、コツを言葉にしながら紐を巻いたり回して見せたりする。 ◎以前の自分と比べられるように、前よりどんなところができるようになったの違うところは何か尋ねたり、教師が感じた違いを言葉にしてそのきっかけを与えたり具体的に褒めたり、知らせたりする。 ◎できるようになったことに自分の頑張りを感じて自信がもてるように、教師が見取ったこれまでの頑張りを具体的に言葉にして褒める回せるようになった子には、みんなの前で披露する時間をとる。 ◎こまを投げる時には、友達に当たらない場所に動いたり、投げる前に周りを確かめたりできるように、友達に当たりそうになっている子どもに個別に声をかけではないか尋ねたり、自ら気付かないでいれば具体的にどう危ないのかを知らせたりする。 ◎こまの止まり方や回り方、紐の巻かれき方に注目できるように、友達がしている様子に注目させたり、一緒に驚いたりする

	驚いたりすその面白さや不思議さを感じる⑨ ○こまを回すと、色や模様が変わることや速さが変わると様子が変わることを感じて、きれいだと思ったり、面白いと思ったり、驚いたり、不思議に思ったりして何度も試そうとする⑩ ○こまの回る様子や止まりそうな様子を見て、回る速さの違い、や回っている時間の長さの違い、どちらが長く回るかを感じる⑪ ○こま回しをしてもよい場所といけなやすい場所やその理由を教えてもらい、場所を考えてこまを回すの板を置こうとする⑫	るこまの様子を言葉にしながら注目する姿を見せたり、巻き方と結び付けて言葉にしたり、その面白さや不思議さに共感したりする。 ◎回っているこまの様子に注目できるように、回っているこまをじっと見つめる姿を見せたり、色や模様の様子を面白がったり不思議がったり驚いたりする。 ◎回る速さが変わると様子が変わることを感じられるように、回り始めから止まるまでの様子と一緒に見たり、変わりがないか尋ねたりする。 ◎回る速さの違いや、回っている時間の違いを感じられるように、スピードが遅くなってきたことを言葉にして知らせたり、回っている時間の長さを一緒に数えたりする。 ◎回る長さと速さを結び付けて比べられるように、どちらが長く回りそうか、そう思うのはなぜか尋ねる。 ◎こま回しをしやすい場所を考えて回せるこまの板を置けるように、理由を教えたり、声をかけて思い出させたり考えさせたりどこに置くとこま回しがしやすいかたずねたり、置いている場所の教師が感じたこま回しをする上でのよさを言葉にしてよく考えていることを褒めたりする。
--	--	--

C【友達と一緒にこまを回すことを楽しむ】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・友達の姿を見たり聞いたりしてすごいと思ったり頑張りに気付いたりする ・困っている友達の様子に気が付き、応援したり、教えてあげたり、できることをしようとする ・友達と息を合わせて回したり、回る時間の長さを競ったり、一緒に遊ぶことを楽しむ	○友達の様子を見て、頑張って何度も練習する友達の頑張りを感じたり、上手にこまを回せるしたり、長く回せしたりする友達を見て、すごい素敵だと思う④ ○友達がなかなか回らない困っている様子を見てに気付いて、やり方を教えてあげようとする⑤ ○友達にこまの持ち方や投げ方、投げる姿勢などを教えてもらって優しさを感じる④ ○友達とどちらが長く回せるか勝負したり、こまをぶつけ合ったりして、一緒に遊ぶ嬉しさを感じる③	◎頑張って何度も練習する友達の頑張りやこまを回せるしたり、長く回せしたりする友達のことを知ったり、友達の頑張りに気付いたりできるように、挑戦している姿をとらえて頑張りを言葉にしたり、紹介する場や見せ合う時間をとったりする。 ◎困っている友達を見て助けてあげ教えようと感じられるように、困っている友達の様子を知らせたり、教えてあげている姿を褒めたり、教えてもらったおかげでうま上手くいきそうなことを伝えたりする。 ◎友達の優しさを感じられるように、教えてもらえた喜びに共感したり、友達の優しさを一緒に感じて言葉にしたりする。 ◎友達同士で集まってこま勝負をしようと思えるように、回っている長さに驚いたり褒めたり、教師が勝負に挑んだりする。

D【より難しいことに挑戦する】		
予想される	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助

子どもの活動		
・下敷きに乗せて持ち上げる ・犬の散歩をする ・紐ですくってジャンプさせる ・紐で持ち上げる ・狙った場所で回す ・狭い場所台の上で回す ・音楽に合わせて回す ・発表会で保護者や友達に見てもらう	○狭い台で回したい、大きなコマを回したいいろいろな技ができるようになりたいなど具体的な目標をもって挑戦したり、繰り返ししたりする① ○友達の様子を見て、いろいろな技ができるに挑戦する友達のことの頑張りをすごい素敵だと思う④ ○より難しいことに挑戦したり、をできるようになったりしたことに自信をもつ②	*より難しいことや面白いことに挑戦してみようと感じられるように、技の揭示をしたり、下敷きや狭い台などを用意したりする ◎コマが回せるようになっても少し難しいことにも挑戦し続けられるように、いろいろな技をやって見せたり、友達のやっがしている様子を揭示したりする。 ◎狭い台で回したり紐に乗せたりできしようとする友達の様子に気付けるように、回せ挑戦する子に注目させ姿を知らせたり、これまでの頑張りを言葉にしたりじっくり見る時間をとったりする。 ◎できるようになったことや挑戦したことに自信を感じられるように、頑張りを具体的に言葉にして褒めたり、友達や保護者に見てもらう機会を設けたりする。